

キャラクター名  
白瀬 結城 (ももせ ゆうき)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	防衛省職員
	ブラックドッグ			年齢	33	性別
オプション			年齢	33	性別	男
覚醒	命令	衝動	闘争	初期侵食率	33	%
出自	親の理解	経験	死と再生	邂逅	主人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	4	1	0			5	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	0	1			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
日本刀	白兵	5r	3	5		ウェポンマウントで取得

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
"バンダー・スナッチ	P 執着	N 脅威		
父親	P 有為	N 不信感		
与えられた生	P 執着	N 不快感		
機械仕込みの身体	P 執着	N 嫌悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ;ブラックドッグ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-lv(下限7)								
雷鳴の申し子	2	5	メジャー	-	-	対決	デュアブリード	
効果: 肉体の限界を超えて、発電細胞に雷撃を生じさせる。このエフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃力に+あなたの(最大HP-現在のHP)する。ただし、このエフェクトを使用したメインプロセスの終了時にあなたはHPが0となる。このエフェクトは1シナリオにLV回まで使用出来る。								
ウェポンマウント	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 武器を内蔵するエフェクト。常備化ポイントが〔LV×5〕以下の武器をひとつ選択すること。アイテムを入手常備化出来る。基本侵食率+2								
アームズリンク	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 装備した武器と、自分の神経を直接結線することで、その武器をより効果的に扱うエフェクト。どんな武器でも、あなたにとっては体の一部と同じだ。このエフェクトを組み合わせた判定のダイスを+LV個する。攻撃判定ダイスに+3								
MAXボルテージ	2	4	メジャー	-	-	対決	80%	
効果: 体内の電流を増幅し、攻撃を強めるエフェクト。このエフェクトを組み合わせた攻撃を+10する。ただし、このエフェクトを組み合わせた攻撃の判定ダイスを-1個する。このエフェクトは1シナリオLV回まで使用出来る。攻撃判定ダイス-1 攻撃力+10								
アタックプログラム	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 武器に攻撃サポートプログラムを組み込んで補助させるエフェクト。このエフェクトを組み合わせた攻撃の命中判定の達成値に+〔LV×2〕する。攻撃の命中判定ダイス+4								
タッピング&オンエア	1	1	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果: 無線電波を傍受したり、逆に電波を放送して画像や音声などの情報を送受信するエフェクト。ケーブルに触れて有線で情報を送受信することも出来る。GMは必要と感じたなら、〈RC〉による判定を行わせてもよい。								
電子使い	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 電子機器なしで、手にしたDVD、ブルーレイ、ハードディスクなどの電磁記憶媒体の情報を読み取ったり、逆に書き込むことの出来るエフェクト。GMは必要と感じたなら、〈RC〉による判定を行わせてもよい。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称: 俺    二人称: 貴方  
メモ→人間っぽいRPをすること

父に望まれて死後レネゲイドウィルスのかで生きていた男。自身の死後に目的を見出たたくてUGNに関わり続けている。不慮の事故に巻き込まれ、はじめこそ助けられたことを感謝していたが、UGNの存在を知り加入し自身の事故の真実を理解したことで父への不信感を持ち始めた。人の命を弄ぶ父親に対しては憎悪に近い感情を抱いているが、それを覆す為には地位と力があると思っている。そのくせに死を恐れ自身の生には執着してしまっているという矛盾感に苛まれている。生きる理由がないと生きてはいけないうちと思っている。チルドレンがちゃんと子供して扱われる為に保護者になるべく支部長になった。

電子機器を静電気?よく壊す。  
エージェントにおかえりと言える場所を提供する為に支部長であり続けたい。